



# たまたた敏幸県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

## 放射能焼却灰の一時保管

# 「県と地元住民の信頼が第一」

知事

# 不安払拭に万全を期す

### 県議会随一の論客、13度目の登壇



ごみ焼却灰問題で厳しく質す滝田敏幸県議

千葉県議会保守派の若手論客として注目を集める滝田敏幸(たまたた・としゆき)県議は、12月定例会一般質問で、通算13度目の登壇をしました。県消防学校の候補地選定、北総鉄道、放射能焼却灰の一時保管問題等、県政と北総地域の課題について、県の施策・方針を厳しく質しました。

特に、指定廃棄物の最終処分場問題では、候補地となる周辺住民との対話の重要性を訴え、科学的知見に基づいた正しい情報を周知するため、放射線防護アドバイザーの配置を県に提案しました。また、県の総合防災拠点について、あらためて印西市への誘致を提案。県消防学校と防災センターの機能と役割について質疑を行いました。

### 12月県議会一般質問

**滝田議員** 手賀沼流域下水道終末処理場における「ごみ焼却灰」の一時保管に当たっては、私の地元である印西市周辺在住の皆さまから、放射線に対する不安の声が寄せられています。こうした周辺住民の不安の声に真摯に耳を傾け、誠実な対応を丁寧に行っていくことが、一人でも多くの県民に、この問題をご理解いただくための唯一の方法だと思います。

**森田知事** 一時保管場所の安全確保に万全を期することはもちろん、周辺住民の皆さまの不安の払しょくのため、風評被害を防止するために、きめ細かく空間放射線量のモニタリングを行い、結果を公表していくことは重要だと考えています。そこで、一時保管に当たっては、空間放射線量のモニタリングを、保管区域内は毎日、周辺地域においても週1回行うこととしています。

ことつまり安全であることが一目瞭然で示されること、特に重要だと思います。そこで伺います。ごみ焼却灰の一時保管に当たって、周辺住民の不安払しょくのため、空間線量の監視・公表はどのような方法で行っていくのか。

付近に掲示板を設置して公表するなど、周辺住民の皆さまの不安の払しょくと風評被害の防止に努めてまいります。

**要望** 来年度以降、最終処分場問題は本県の一大事になると思います。県としても、放医研にお願いして、県民向けの講習会を開催するなど、正しい情報の普及に取り組みとのことですが、せつかくの情報もすべし別の、いろいろ風評を含めた情報に埋没してしまうような状態にありませんか。

このため、放射性物質に関する正しい知識が、県民の常識になるような、力強く組織的な発信が必要だと思います。私は、改めて千葉県には放射線リスクのアドバイザーの配置が必要だとの想いを持っています。このことについて、ぜひ検討を強く要望いたします。

### たきた敏幸・PROFILE

#### 略歴

- 1960年 印西町大森生まれ 大森小、印西中 県立我孫子高校
- 1982年 同志社大学卒業
- 1999年 印西市議初当選
- 2003年 印西市議再選
- 2007年 千葉県議初当選
- 2008年 印西市消防団副団長 県議会：総合企画常任委員長
- 2010年 千葉県ラグビー協会会長
- 2011年 千葉県議再選

#### 現職

- 県議会 環境警察常任副委員長 議会運営委員会委員

● 県政と印西市に関するご相談・ご要望をお気軽にお寄せください。

## たきた敏幸事務所

〒270-1326 印西市木下1521-125 2F TEL.0476(37)4173

**お知らせ**  
滝田敏幸県議の12月県議会での質疑は、県議会のホームページから「議中継(録画)」ですべてご覧いただけます。



# 北総 鉄道

# 県と沿線6市の協議を提案

## 県の総合 防災拠点 県下5市が候補地



安倍晋三自民党総裁に、新鎌ヶ谷駅で北総鉄道問題を説明

**滝田議員** 成田空港と都心を結ぶ、いわゆる都心直結線の整備は、成田空港がアジアにおける主要な国際空港として生き残るためには、絶対必要な路線であるだけでなく、21世紀の本県にとっても、死活的に重要な基盤整備と考えます。また、印西市をはじめと

### 死活的に重要な都心直結線

こうした変化の中で、平成27年度以降の運賃値下げの扱いについては、早急に新たなステージに向けた検討を進めたいと考えています。

なお、沿線市との検討に当たっては、必要に応じて会社の協力を求めながら進めていきたいと思います。

## 北千葉道路への取り組み

**滝田議員** 北千葉道路の市川市から鎌ヶ谷市間の現在の取り組み状況はどうか。

**県土整備部長** 北千葉道路は、成田空港へのアクセス強化や沿線地域の相互交通など大変重要な道路です。このうち、市川市から鎌ヶ谷市までの9.5キロは、起点となる外環道の整備が鋭意進められる中、早期に計画の具体化を図る必要が

**滝田議員** 県道八千代宗像線の印西市地域の進捗状況はどうか。

**県土整備部長** 県道八千代宗像線の印西市岩戸地先3.3キロについては、幅員が狭く線形が不良なことから、地域住民の安全確保を図るため、バイパス整備を進めています。現在の進捗状況ですが、

**滝田議員** 県は本年3月「千葉県総合防災拠点」の候補地に関する情報提供の照会を行ったところ、印西市を含む5市から誘致希望の回答があったとのこと。新たな消防学校候補地の検討状況はどうなっているのか。

**防災危機管理部長** この検討に当たっては、(1)ボランティアや企業関係者を含む県民を対象とする「防災教育施設」である防災センターとの関連性の検討(2)防災

**14回目の質問**

**滝田議員** 私は、県議会議員に当選して以来、一貫して北総鉄道の運賃問題に取り組んでまいりました。北総鉄道の問題をこの場で取り上げさせていただくのは、予算委員会を含め14回目となります。

この間、沿線住民の悲願だった運賃値下げも実現し、北総鉄道の経営状況も毎期黒字を計上し、今年度中には長年の懸案だった債務超過が解消されると聞いており、経営の安定化に向けた大きな一歩だと考えます。

進める必要があると考えます。そこで伺います。北総鉄道の運賃値下げについて、現行の支援期間が終了する平成27年度以降を見据えた、関係者による検討状況はどうか。

**総合企画部長** 今年度は支援開始から3年目となることから、改めて支援の効果や北総鉄道の経営状況などについて、印西市・白井市をはじめとする沿線6市とともに検証しています。

具体的には、運賃値下げに伴う減収額や輸送人員と運輸収入に与える影響、成田空港利用客の状況などについて、本年10月から勉強会を開始しました。

の都心機能を増進し、アジアの拠点としての競争力を高めるため、都心と成田・羽田両空港を直結する鉄道アクセスとして「都心直結線」を検討しています。

この「都心直結線」の整備により、東京駅と成田空港が30分で結ばれることになり、成田空港へのアクセスや、千葉ニュータウンを中心とする県北西部地域の交通利便性の向上などが期待されています。

県としては、引き続き国に対し、調査・検討を進めるよう要望するとともに、国の調査に協力していきたいと考えています。



自民党政調会で埼玉県中央防災基地を視察

※公職選挙法の規定により、年賀状等の時候のご挨拶が制限されています。このレポートをもって、代えさせていただきます。